

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道29号 津ノ井バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：鳥取県鳥取市柘宜谷 至：鳥取県鳥取市菟浦			延長	9.5 km	
事業概要	<p>一般国道29号は、兵庫県姫路市から鳥取県鳥取市に至る延長約120kmの主要な幹線道路であり、沿線地域の産業・観光や住民の生活に大きな役割を果たす重要な路線である。</p> <p>津ノ井バイパスは、鳥取市における国道29号の交通混雑の緩和、安全で円滑な交通確保、周辺地域との連携強化を図ることを目的とした延長9.5kmの道路である。</p>					
S59年度事業化	S42・S59・H8年度都市計画決定 (H6・H8年度変更)	S60年度用地着手	S61年度工事着手			
全体事業費	約560億円		事業進捗率	66%	供用済延長	7.5 km
計画交通量	7,900~33,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 145 / 702 億円 事業費：130 / 657 億円 維持管理費：15 / 45 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 217 / 1,286 億円 走行時間短縮便益：165 / 1,077億円 走行経費減少便益：30 / 153億円 交通事故減少便益：22 / 57億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施					
交通量変動	B/C= 1.7 (交通量+10%)		B/C= 1.3 (交通量-10%)			
事業費変動	B/C= 1.4 (事業費+10%)		B/C= 1.6 (事業費-10%)			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保：一般国道29号の渋滞緩和が見込まれる 安全で安心できるくらしの確保：三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 個性ある地域の形成：主要観光施設へのアクセス向上が見込まれる <p style="text-align: right;">他20項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	吉成交差点の渋滞対策が求められており、鳥取市、智頭町の首長で構成される「国道53号整備促進鳥取県期成会」において、立体交差化促進の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	H12年度までに暫定供用したことで、現道の渋滞緩和が図られた。しかし、津ノ井バイパスにおいては、工業団地への企業立地等、周辺状況の変化による交通量の増加、交通流動の変化により混雑が生じている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収については概成。平成19年度末現在でL=7.5 kmを供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、現在は、H21年度の中国横断自動車道姫路鳥取線開通に合わせ、吉成交差点の立体化及び鳥取ICアクセス部の整備を推進する。					
施設の構造や工法の変更等	橋梁上部工への耐候性鋼材（無塗装化）採用及び補強土壁への新工法採用等、コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。